

# 歴史を繰り返そう

前号で塾アイウィル解散の報告をした。「知らなかった」「なんで誘わなかった」とご意見をいただいた。研修やセミナーではないのでオープンで募集はしなかった。三十年続いて歴史になった塾アイウィル、このまま歴史の幕を降ろしてしまうのか。今月号でもう少し：

## 育てることは企業の使命

子供は外からの刺激影響によって育っていく。どんな親から生まれ、どんな家庭で育ち、どんな友達を持ち、どんな先生に教えられ、どんな本を読んだか。それと社会で偶然出会った人や出来事。これらの要素が子供を育てる。

## 人間中心の経営が人を育てる

厳しい環境と教育が人を成長させる。もうひとつ必要なのが、経営者の人間に対する理解と人間尊重の姿勢である。

特に中小企業では、トップがどれだけ真剣に人をもっているかによって、人は良くも悪くもなる。

学生がどの組織（会社）に所属するかを決めるのは、人生の

経営管理講座 432 染谷昌克

人は自分が健全に成長しているとき、幸福を感じる。幸福な人生とは、自分を成長させてくれる人々と共に生きる人生である。

企業は人間の成長の場である。人は社員として活動する中で、刺激され、影響を受け、教

## 人間中心の経営者集団

社員がいきいきと仕事をし、自信に満ち溢れた表情で、人間的な温かみを持ったいる会社。こうした会社は社長が、人間中心の経営を行っている。

会社の優秀性は、規模や売り上げで測るのではない。優れた経営者と優れた社員と、その人々が作り出した商品で決まる。人が育っていたら、売り上げや規模は上がっていく。

前号で解散をお伝えした塾アイウィル。どんな学びがあったかは、亀井社長が教えてくれた。

前号で解散をお伝えした塾アイウィル。どんな学びがあったかは、亀井社長が教えてくれた。

これが、企業の最優先すべき使命は人を育てること。だということも自然と理解させる。企業が人材育成を重視する姿勢は、社員の信頼や社会からの評価も向上する。優秀な人材が集まり、企業はさらに成長する好循環が生み出される。

成功している経営者は多くいる。完成された経営者はいない。経営に目標はあるが、終点はないからである。

経営者は未完成である。だからトップは常に向上心を持ち、成長を望み、学び続ける。自分の成長が、会社の、社員の、その家族の、地域社会の、幸せにつながることを知っているから。

学びの場を再開する。【新生塾アイウィル】令和七年五月スタート 参加資格

経営者・取締役以上の役職者、後継者・経営者の推薦 詳細は左の電話にて

お問い合わせください。info@will-kensyu.com



泊熱の塾アイウィル勉強会



盛況の第七回同窓会会場